

## 令和7年度「いわて新農業人チャレンジファーム」第12回研修を開催しました！

第12回研修は、令和7年8月1日（金）、2日（土）に、雫石町南畑のコテージむらにおいて開催しました。

今回は、栽培管理③（生理障害、気象対策）及びキャベツ等実習野菜の栽培方法についての講義と、キャベツの定植とだいこんのは種、実習野菜の栽培管理などの実習を行いました。

講義では、主に野菜栽培における要素欠乏・過剰による生理障害や暑熱（台風）対策、防寒対策について指導員から解説しました。

生理障害については、トマトを例に上げ、窒素やカルシウムの欠乏による株や果実に発症する症例とその原因について説明し、対策としては、欠乏要素を葉と茎から吸収させる葉面散布剤を施用する、とのことでした。

ただし、葉面散布は一時的な対処方法であるため、要素欠乏が発生しないように、堆肥の施用などによる栽培ほ場の土作りをしっかりと実施することがポイントとの説明がありました。

実習では、実習ほ場においてトマトの収穫及び管理作業のあと、露地ほ場において、ピーマンやナス、じゃがいもなどの収穫のほか、キャベツ苗の定植とだいこんのは種を行いました。

はじめに施肥から白黒マルチの敷設までを受講生同士協力して行ったあと、それぞれの栽培畦へ、キャベツ苗の定植とだいこんをは種しました。

研修開始当初と比較し、作業の効率が段々上がったうえ、綺麗に短時間で作業できるようになり、研修の成果を実感することができました。

まだまだ暑い日が続きますが、熱中症に十分に気を付けて全員が無事に秋じまいを迎えられるよう頑張りましょう。

第13回研修は、令和7年8月22日（金）、23日（土）に雫石町南畑のコテージむらにおいて、岩手の果樹栽培の講義のほか、ブロッコリー及びはくさいの定植、実習野菜の管理作業などを実施する予定です。



講義「栽培管理③（生理障害、気象対策）」の様子



キャベツの苗を栽培畦へ定植する受講生



だいこんの種を栽培畦へは種する受講生



今回の研修で収穫した実習野菜の一部